

つ な が り

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり
政策	08 尊ぶ
施策	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	136,273千円	118,397千円				254,670千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国際化推進事業	373千円	8,673千円	0千円	9,046千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
人権啓発推進事業	4,985千円	8,673千円	0千円	13,658千円	市民生活部 人権推進課
市民平和推進事業	330千円	8,673千円	0千円	9,003千円	市民生活部 人権推進課
子どもの人権オンブズパーソン事業	28,441千円	3,933千円	0千円	32,374千円	市民生活部 人権推進課
人権教育推進団体等支援事業	5,717千円	8,673千円	0千円	14,390千円	市民生活部 人権推進課
隣保館運営事業	10,332千円	17,346千円	0千円	27,678千円	市民生活部 総合センター
総合センター維持管理事業	11,002千円	0千円	1,246千円	12,248千円	市民生活部 総合センター

【施策評価指標】

評価指標				傾向
一人ひとりの人権が尊重 1 されていると感じている 市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>一人ひとりの人権が尊重されていると感じている市民の割合</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・この指標(数字)は、人権意識が高まれば、逆に数値は下がってしまう可能性のある指標でもあると考える。	
	目標達成に向けた今後の課題		・市民の人権意識が高くなるほど、現状に対する満足(批判)レベルも高くなっていく。 ・人権啓発の推進と同時に、人権的視点で種々の行政施策をチェックしながら推進していく必要がある。	
	担当課		市民生活部 人権推進課	

評価指標				傾向
小中学生のオンブズパーソン 2 認知率	定義	方向性	子どもの権利条約にもとづく実感調査より	<p>小中学生のオンブズパーソン認知率</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		・数値は上向いているが、周知手段が毎年同じ方法であるなどで、目標は達成できていない。(2年に1回の調査で、H26年度は未実施)	
	目標達成に向けた今後の課題		・引き続き、小中高生等にリーフレットや電話カードを配布し、制度の周知に努めていく。 ・新たに手作りで制作したマンガ形式のスライドを有効に活用していくなど、学校現場の理解と協力を得ながら、広報・啓発活動の充実に取り組んでいく必要がある。	
	担当課		市民生活部 人権推進課	

評価指標				傾向
隣保館来館者数 3	定義	方向性	各年度末の来館者数	<p>隣保館来館者数</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		来館者数が減少したのは、アステ市民プラザのオープンに伴い、利用者が同プラザに流れたことが主な理由である。	
	目標達成に向けた今後の課題		総合センターだよりやホームページのさらなる充実を図り、センターの認知度を高めることで目標値の達成をめざしたい。	
	担当課		市民生活部 総合センター	

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向										
4 姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合</p> <table border="1"> <caption>姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>15.1</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>21.5</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>20.7</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	基準値	15.1	H25	21.5	H26	20.7	目標値	25.0
	年度	割合 (%)												
	基準値	15.1												
	H25	21.5												
H26	20.7													
目標値	25.0													
実績値の評価・分析		26年度は前年度に比べて0.8ポイント減少したが、傾向としては目標値に向かっている。												
目標達成に向けた今後の課題		川西市国際交流協会の事業、ホームページや広報誌などを通じて姉妹都市ポーリング・グリーン市のPRに努める。												
担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課												

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	08 尊ぶ							
施策	42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします	コスト合計	91,311千円	91,924千円				183,235千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
男女共同参画推進事業	1,980千円	8,673千円	0千円	10,653千円	市民生活部 人権推進課
男女共同参画センター運営事業	33,179千円	0千円	48,092千円	81,271千円	市民生活部 人権推進課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 性別による固定的役割分担を否定する市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>性別による固定的役割分担を否定する市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		性別役割分担を否定する市民の割合は、ほぼ横ばい状態である。	
	目標達成に向けた今後の課題		性別役割分担を否定する市民の割合を上げるため、男女共同参画社会の実現をめざした講座の開催や広報かわにし「男女共同参画特集号」の発行などを行った。これまでの取り組みの成果を継承しつつ、目標値の達成に向け、引き続き「第3次男女共同参画プラン」の着実な推進を図っていく必要がある。	
	担当課		市民生活部 人権推進課	

評価指標				傾向
2 審議会等への女性委員の登用率	定義	方向性	女性委員数÷全委員数	<p>審議会等への女性委員の登用率</p>
	実績値の評価・分析		目標値30%の達成をめざしているが、H25からH26は、0.9ポイント上昇した。少しずつではあるが、登用率は上がってきている。	
	目標達成に向けた今後の課題		審議会等への女性委員の登用率向上のため、各審議会事務局へ個別に女性委員の登用促進の依頼を行うなど、今後も目標値の早期達成に向け、全庁的な理解が得られるよう働きかけが必要である。	
	担当課		市民生活部 人権推進課	

評価指標				傾向
3 男女共同参画センター登録活動団体数	定義	方向性	男女共同参画センターへの活動団体登録を行っている数	<p>男女共同参画センター登録活動団体数</p>
	実績値の評価・分析		登録団体の中には、メンバーの高齢化により活動を中止した団体もあるため、団体数が減少した。	
	目標達成に向けた今後の課題		男女共同参画センターで実施している講座に参加された方々による新規活動団体の立ち上げなど、さまざまな施策を通じて登録活動団体の増加に繋げる。	
	担当課		市民生活部 人権推進課	

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	09 関わる							
施策	43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	コスト合計	139,366千円	135,656千円				275,022千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
情報公開事業	2,162千円	17,346千円	0千円	19,508千円	総務部 総務課
広報事業	35,043千円	43,365千円	0千円	78,408千円	総合政策部 広報課
広聴事業	962千円	12,606千円	0千円	13,568千円	市民生活部 生活相談課
市民相談事業	6,826千円	17,346千円	0千円	24,172千円	市民生活部 生活相談課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
必要な市の情報が入手 1 できると感じている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		広報誌をリニューアルし、紙面への関心を高める工夫を図ったが、多様なツールによる情報発信が不足していたと考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		広報誌の広報を含む、パブリシティ、ホームページ、SNS等で提供する情報の内容、見せ方などにおいて、より一層の工夫を行い、それぞれのツールに適した情報発信を行う必要がある。	
	担当課		総合政策部 広報課	

評価指標				傾向
市民の意見や考えなどが 2 市に届いていると感じている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		平成24年度から増加傾向であったが、平成26年度は減少し、目標達成には至らなかった。	
	目標達成に向けた今後の課題		市に届いた意見や提案について、市ホームページ(よくある質問など)に反映させることで、市民への情報提供を図り、市政の透明性の確保や情報共有の向上に努める。	
	担当課		市民生活部 生活相談課	

施策別 行政サービス成果表

視点	04 つながり		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	09 関わる							
施策	44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	コスト 合計	91,119千円	106,614千円				197,733千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
コミュニティ推進事業	47,035千円	8,673千円	9,982千円	65,690千円	総合政策部 参画協働室
自治会支援事業	19,736千円	12,606千円	0千円	32,342千円	総合政策部 参画協働室
市民活動推進事業	8,582千円	0千円	0千円	8,582千円	総合政策部 参画協働室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合 1	定義	方向性	市民実感調査より	<p>自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		昨年度とほぼ横ばいの結果となっており、地域活動を支えてきた担い手が継続的に活動していると考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		担い手の高齢化が進む中で、これまで活動に参加していない世代の参加を促進する取組が必要である。	
	担当課		総合政策部 参画協働室	

評価指標				傾向
ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合 2	定義	方向性	市民実感調査より	<p>ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		昨年度より2ポイント上昇しており、活動へ主体的に参加する意欲をもつ市民がたくさんいることがうかがえる。	
	目標達成に向けた今後の課題		活動に参加するきっかけとなるような機会を増やしていく必要がある。	
	担当課		総合政策部 参画協働室	

評価指標				傾向
自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合 3	定義	方向性	市民実感調査より	<p>自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		昨年度より2.5ポイント低下しており、近隣社会に頼らなくても不便さを感じさせない生活環境が影響していると考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		市民同士の支え合いが、安全で安心なまちづくりの基盤であることを見える化する取組が必要である。	
	担当課		総合政策部 参画協働室	

